

埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.2

ヒヤジヨー毛遺跡



1993年3月

那覇市教育委員会

発行/那覇市教育委員会 〒900 沖縄県那覇市樋川12-8-8
TEL (098) 853-5775

編集/那覇市教育委員会文化課
印刷/文進印刷株式会社

モ- ヒヤジョ-毛遺跡発掘調査ニュース

(1) はじめに

天久解放地（214ヘクタール）には、先史時代から琉球王府時代までの幅広い時代の遺跡が9カ所確認されている。

那覇市教育委員会は、「那覇新都心区画整理事業」を進めている地域振興整備公団から委託を受けて、1990年（平成2年）7月に天久解放地内の発掘調査を開始し、1995年（平成7年）3月までにすべて完了する予定である。

モ-ヒヤジョ-毛遺跡も確認された9カ所の遺跡の一つである。本遺跡の発掘調査は1991年10月に開始し、1993年3月に完了した。この発掘調査で得た成果の概要はつぎのとおりである。

(2) 遺跡の概要

モ-ヒヤジョ-毛遺跡は那覇市字銘苅小字銘苅原に所在する。本遺跡は1986年3月発行の『那覇市歴史地図』（那覇市教育委員会）に「モ-ヒヤジョ-毛遺物散布地」と登録されている周知の埋蔵文化財である。本遺跡は銘苅川の北側崖上に広がる12～16世紀の集落跡であ

る。崖下には『埋蔵文化財発掘調査ニュースNO.1』で紹介した「銘苅古墓群（南地区）B地区」の古墓が並んでいる。崖上平坦地は標高20～22mで、古墓群が並ぶ崖下は標高15～16mである。崖下には古墓のほかに、崖上の集落からの投棄で形成された貝塚が4カ所確認された。

遺構としては、柱穴群、炉跡、便所状遺構、排水溝、墓などが検出された。柱穴が多く検出されたことで掘立柱建物があったと考えられるが、建物のプランは明確でない。炉跡は円形に掘り込んだもので、内部が赤く焼けた煮炊用の炉跡2基と、その2基の間に、内部が焼けてなく、炭や灰だけが堆積していることから、火種を蓄えたと考えられる炉が1基検出された。煮炊用と火種用と考えられる炉がセットで検出されたのはほとんど例がなく、注目される遺構である。便所状遺構は細長で深く掘り込まれたもので、2基並んで検出された。便所であるかどうかについては、穴から採取した土を分析にまわして解明していきたい。

遺物としては、中国陶磁器、タイ陶磁器、

カムイ窯須恵器、土器、ガラス小玉（ビーズ）などが検出された。中国陶磁器は12世紀代の白磁玉縁口縁碗から16世紀の青花（染付）碗・皿まで出土し、時代幅の広い遺跡であることがわかった。12世紀代の白磁玉縁口縁碗とカムイ窯須恵器の出土量は、これまでに発掘調査が実施された県内の遺跡の中で最も多い。タイ陶磁器は褐釉陶器の大型四耳壺や半練（土器）の壺や蓋などが検出された。

(3) 集落と墓

この遺跡の発掘調査で特筆されるのは、集落と墓がセットで確認されたことである。この集落の墓と考えられる風葬墓が崖下の銘苅古墓群B地区の中で3基（チンマーサーと呼ばれている囲込岩陰墓）確認された。しかも、墓室内の堆積土から出土した遺物と層序などから14～15世紀と考えられる墓と、16～17世紀と考えられる墓が検出された。14～15世紀と考えられる墓では人骨の周囲から鉄製の角釘が多く出土することから、一次葬も二次葬も木棺に納めて安置したと考えられる。16～17世紀と考えられる墓では、一次葬は木棺で、

二次葬は土器壺や中国産褐釉陶器壺などを蔵骨器に転用している。このような葬制のあと、17世紀後半以降は石棺、陶棺など専用の蔵骨器が二次葬で使用されていることなどが解明された。このように葬制の変遷が考古学で解明されたのは沖縄ではじめてである。

(4) おわりに

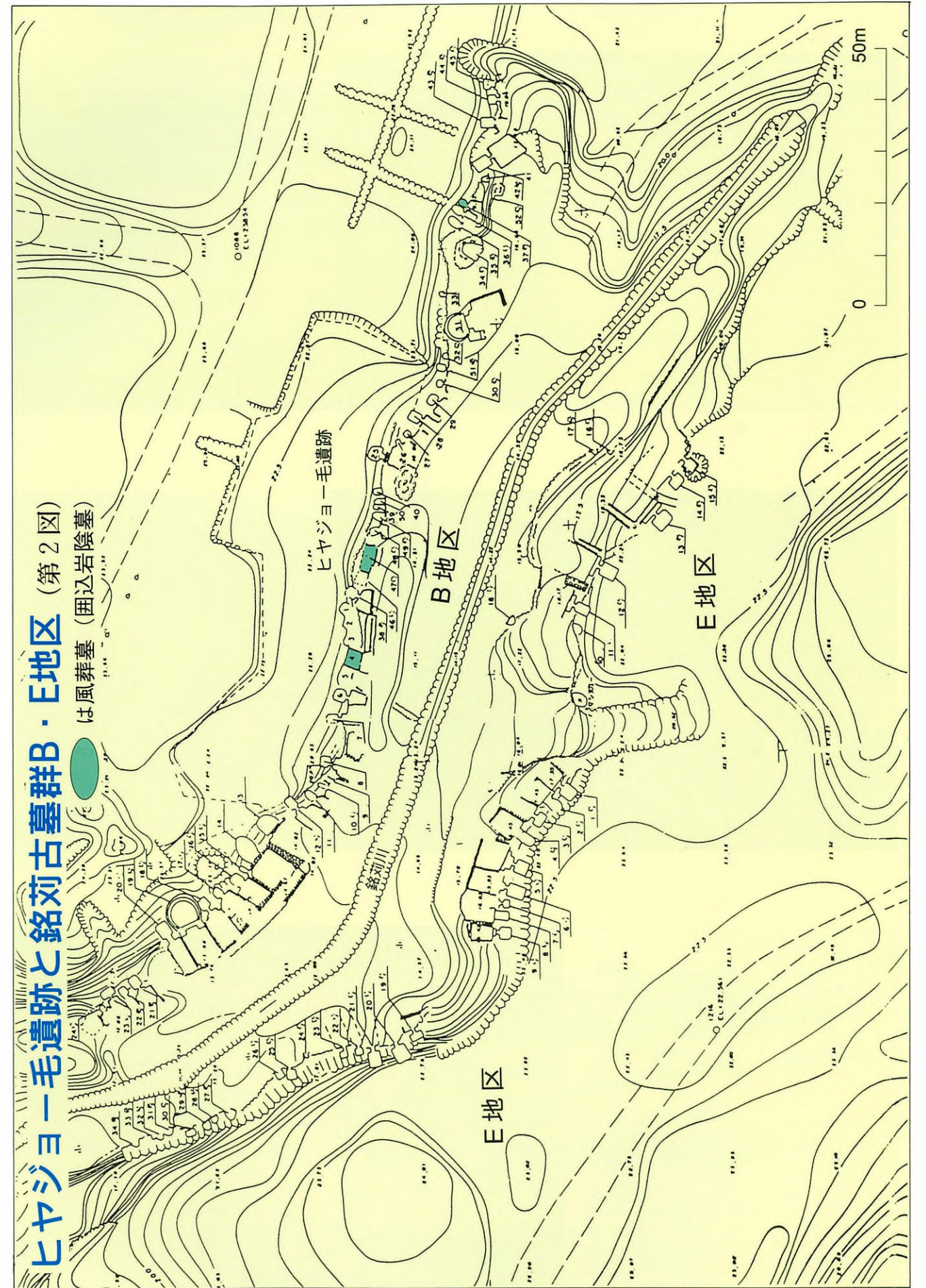
本遺跡は米軍の造成工事や建築工事などでかなり破壊され、掘立柱建物のプランなどを把握するのはむずかしかつたが、炉跡、便所状遺構、排水溝、墓などの遺構が確認された。また、中国陶磁器、タイ陶磁器、カムイ窯須恵器、土器、ガラス小玉（ビーズ）などの遺物も多く検出され、予想以上の成果を得た。本遺跡は周知の埋蔵文化財としての登録は「モ-ヒヤジョ-毛遺物散布地」であるが、発掘成果に基づき、「モ-ヒヤジョ-毛遺跡」と改名した。

今後の資料整理で発掘された遺構や遺物を細かく分析し、検討して、遺跡の全体像を解明したい。

那覇市概略図と天久解放地 (第1図)



ヒヤジヨ-毛遺跡と銘苅古墓群B・E地区 (第2図)
 は風葬墓 (囲込岩陰墓)



ヒヤジョー毛遺跡と
銘苅川を挟んで並ぶ
銘苅古墓群（南から）



発掘調査状況（西から）



ヒヤジョー毛遺跡全景（東から）



発掘調査状況（東から）



発掘された遺構群
（右下に並んでいる
2つの細長い穴が便
所状遺構、中央の大
きな溝はパワーショ
ベルで掘られたもの）



層序（東から）





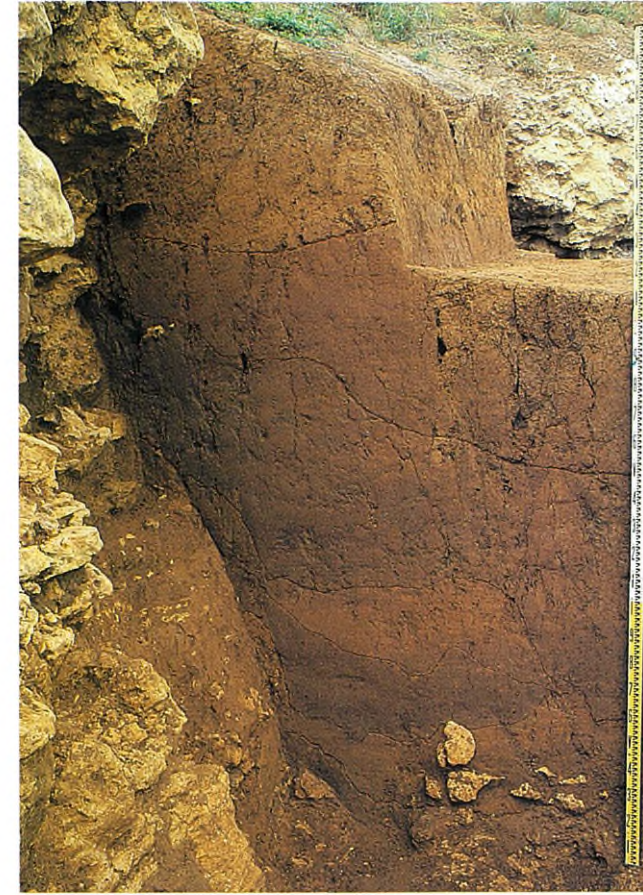
炉跡（左が煮炊用、右が火種用）



便所状遺構



ピット内の土器



崖下の第2貝塚層序



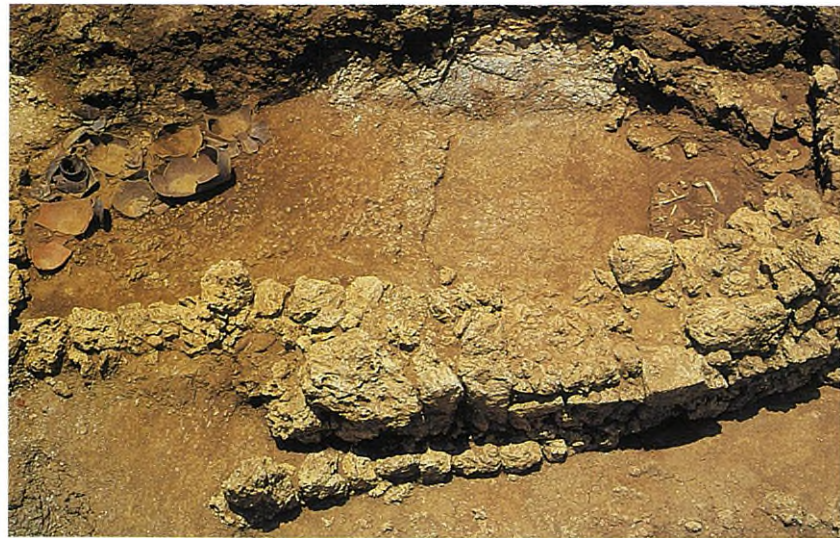
崖下第2貝塚の発掘



崖下の第3貝塚の遺物出土状況



崖下4号墓（風葬墓）
の人骨出土状況



崖下の第47号墓（風葬墓）
の人骨出土状況



崖下47号墓（風葬墓）
内の層序



白磁玉縁口縁碗



青磁劃花文碗



タイ産半練（土器）の壺と蓋